

災害時に避難所へ無理なく素早く移動できる歩き方を習得しようと、淡路市富島の淡路高校の2年生約20人が14日、「防災ウォーキング」を試した。芦

屋市の社交ダンス講師佐野雅俊さん(46)と美由紀さん(45)が提唱する疲れにくい歩き方といい、生徒たちは住民に伝える役割も担う。(荻野俊太郎)

## 芦屋の佐野さん夫妻 淡路高で防災ウォーキング講座

# 災害時に役立つ 楽な歩き方習得

同校2年生の選択授業「防災と心のケア」の一環で、校外から講師を招いている。佐野さん夫妻は、社交ダンスの教室を開く傍ら、今年3月に「防災ウォーキング講座」を始めた。

美由紀さんは震災当時は高校生で、自宅から避難所まで長時間歩いて避難した経験を生徒たちに語った。「スムーズに避難所に着ければ安心する。防災の一つとして、楽に速く歩く方法を広めてほしい」とし、実

## 生徒が地元住民に伝授へ

技に入った。尻から頭まで一直線に伸ばすように意識し、同じリズムで歩く基本を説明。社交ダンスの体の使い方を生かしており、生徒たちは音楽に合わせて教室を歩いた。参加した坂本竜清さん(17)は「日常でも応用できると思った。親戚にも教えたい」と話した。同校は21日、生徒が習った歩き方を住民に伝える行事を計画している。



佐野雅俊さん(右)が教える歩き方を試す生徒＝淡路高校

神戸新聞社様、淡路高校様及び淡路高校関係者様の使用許諾を得て

ホームページに転載しております